

## おかげさまで 50号!

「農楽里(のらり)」は、今回で 50号を迎える。「元気な農山漁村をつくっていききたい」という農業農村整備関係の職員たちの思いから平成 23年夏に創刊され、毎年 4回ずつ 12年間途絶えることなく発行してきた。

今回の記事では、50号を記念し「農楽里」制作の様子を読者の皆様にお伝えしたい。

### 創刊当時から

「農楽里」は創刊当時から、職員が自ら取材に行き、記事の執筆から編集と校正までを行うことが特徴のひとつである。創刊号を担当した職員にインタビューしたところ、当時の記憶が鮮明に残っており、責任と熱意をもって記事作成を行った様子がうかがえた。

創刊当時は 15名程度だった編集委員の数も現在では約 50名に増えた。職員ひとりひとりが創刊当時の想いを受け継ぎながら、記事作成に臨んでいる。

「農楽里」は、これからも読者の皆さまに、県内の元気な地域の活動や農村の「いま」をお届けしていく。やまがたの農山漁村づくりの応援団として引き続き見守っていただきたい。

# ありがとう!

# norari

Vol.50  
Free

### 編集委員長から

山形県内各地の農村集落の頑張りを追い続けること 50回。

12年目の「農楽里」は、時代の変化を工夫で乗り切りながら活動を続ける地域の皆様と、歴代の担当県職員からのタスキを繋ぎながら、今も走っています。引き続きご愛読いただけると幸いです。

### のらり親父から

50号まで 10年以上続けられてきたことに、「農楽里」に携わってきた皆さんに心から敬意と感謝を表します。

「親父のつぶやき」は、真面目な中にも、やわらかい内容があっても良いのではないかと始めました。葛藤もありましたが、楽しみにしている読者もいるとおだてられて続けてきています。皆さんの声によっては、いつでもやめるつもりです。

でも、親父のつぶやきは嫌いになっても農楽里は嫌いにならないください。

今までのようにぶざけた「つぶやき」は、これからはバツ「X」ですね。



# 農楽里が できるまで



## ① 編集委員会



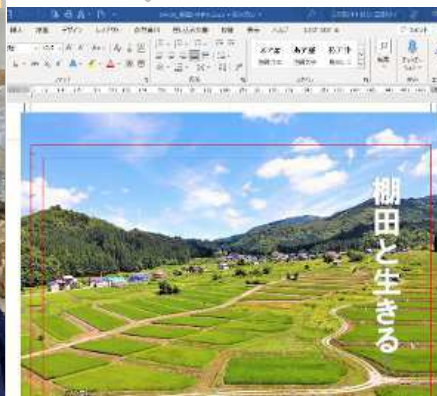
「農楽里」編集のノウハウを共有。  
春夏秋冬の担当毎に分かれてネタだし。

## ② 取材



現地に行って取材。写真撮影も最近ではド  
ローンを活用。

## ③ 記事作成



取材をもとに Word で作成。レイアウ  
トも職員が記事ごとに考えている。

## ④ 編集会議



記事掲載順、表紙写真、裏表紙の内容、  
読者プレゼントなどを決定。

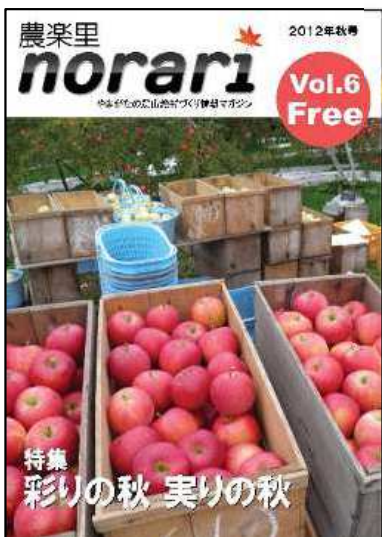
## 完成!



発刊された「農楽里」は職員が各土地  
改良区や道の駅などにお届けする。

## 反響が大きかった過去号ランキング

(アンケート応募総数)



**1** norari6号 (2012 秋号)

特集「彩の秋 実りの秋」  
つや姫の秘密  
山形ヴィニユロン  
ぶどう苗木の里  
なつかしの農家民宿 農家民宿 母屋  
農村の豊かさを発信 谷口がっこそば  
水土里ウォーク 大山上池・下池  
やまがたの食 甚五右エ門芋



**2** norari45号  
(2022 夏号)

テーマ  
「めぐみつなげる」



**3** norari41号  
(2021 夏号)

特集  
「農村環境と向き合う」